



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月25日

上場会社名 株式会社正興電機製作所 上場取引所 東・福
 コード番号 6653 URL <https://www.seiko-denki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 添田 英俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831
 四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	18,603	4.2	1,062	30.4	1,191	23.8	782	30.5
2022年12月期第3四半期	17,851	7.2	814	△5.5	962	5.8	599	6.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,446百万円(355.9%) 2022年12月期第3四半期 317百万円(△53.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	64.36	—
2022年12月期第3四半期	49.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	24,581	12,643	51.4
2022年12月期	28,055	11,565	41.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 12,643百万円 2022年12月期 11,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年12月期	—	17.50	—		
2023年12月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	10.0	1,700	18.0	1,850	14.7	1,240	14.5	102.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期3Q	12,603,595株	2022年12月期	12,603,595株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	437,395株	2022年12月期	462,384株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期3Q	12,153,728株	2022年12月期3Q	12,130,452株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融引き締めによる欧米の景気減速や不動産不況を主因とする中国の成長鈍化など、世界的な景気後退の中、国内製造業における設備投資が底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、今後も世界的な景気減速が懸念されており、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画（SEIKO IC2026）の基本方針である「企業活動・事業活動を通じた社会課題解決により、サステナブルな社会の実現に貢献する」のもと、「デジタル技術を活用した社会課題解決」「カーボンニュートラルへの取り組み」「One 正興によるグループ総合力の発揮」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、環境エネルギー部門の公共分野や、電力部門、情報部門、その他部門の電子制御機器分野が堅調に推移し、売上高は18,603百万円（前年同期比 4.2%増）となりました。

損益につきましては、環境エネルギー部門の売上増加、電力部門およびその他部門の電子制御機器分野の利益率改善により、営業利益は1,062百万円（前年同期比 30.4%増）、投資有価証券売却益や固定資産売却益等の営業外収益により、経常利益は1,191百万円（同 23.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は782百万円（同 30.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメント等の変更を行っており、以下の前年同四半期連結累計期間比較については、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（電力部門）

発電・変電所向け受配電・制御装置や配電機器製品、IT（情報技術）を活用した現地操作支援や遠隔設備監視といった、スマート保安システムが堅調に推移したこと、また、原価低減の取り組み効果により、売上高は5,185百万円（前年同期比 2.0%増）、セグメント利益は565百万円（同 16.4%増）となりました。

（環境エネルギー部門）

中国事業においては、中国の景気減速による影響が継続しているものの、国内公共分野においては、現地工事の進捗遅れが続く中であっても、水処理施設向け監視制御システムの生産が進んだこと等により、売上高は7,858百万円（前年同期比 12.7%増）、セグメント利益は165百万円（同 29.5%増）となりました。

（情報部門）

国内において、スマート港湾システムやヘルスケアシステムが堅調に推移し、売上高は1,000百万円（前年同期比 10.7%増）となりましたが、フィリピンでの日系企業向けシステム開発が減少したこと等により、セグメント利益は118百万円（同 11.2%減）となりました。

（サービス部門）

太陽光発電所向けの大口案件が減少したことや、デジタル関連製品の販売が低調となったこと等により、売上高は2,452百万円（前年同期比 20.6%減）、セグメント損失は3百万円（前年同期 セグメント利益0百万円）となりました。

（その他）

電子制御機器製品の増加や、発電・変電所向け工事案件が堅調に推移したこと、また、原価低減活動により、売上高は2,107百万円（前年同期比 16.8%増）、セグメント利益は215百万円（同 219.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して4,349百万円減少の15,016百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が4,281百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して875百万円増加の9,565百万円となりました。これは主に、投資有価証券が時価の上昇等により890百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して4,534百万円減少の8,632百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,125百万円減少したことや、短期借入金金が3,098百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して16百万円減少の3,305百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が271百万円増加した一方で、長期借入金金が171百万円、退職給付に係る負債が77百万円、その他に含まれるリース債務が37百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して1,077百万円増加の12,643百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により395百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の時価の上昇等により645百万円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により782百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、中国の景気減速による影響が想定以上に続き中国事業の立上りが遅れていることや、国内公共分野において、部材の入荷遅延については一部改善傾向にあるものの、現地工事においては依然として進捗遅れが発生しており、当初の計画に対し売上が減少するため、2023年2月1日に発表いたしました業績予想を修正しております。

1. 2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	2,000	2,050	1,370	112.84
今回修正予想 (B)	27,500	1,700	1,850	1,240	102.00
増減額 (B-A)	△2,500	△300	△200	△130	
増減率 (%)	△8.3%	△15.0%	△9.8%	△9.5%	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	25,007	1,440	1,612	1,082	89.25

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,327	2,050
受取手形、売掛金及び契約資産	13,965	9,683
商品及び製品	535	372
仕掛品	1,727	2,002
原材料	403	515
その他	423	408
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	19,365	15,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,928	3,880
その他（純額）	1,347	1,389
有形固定資産合計	5,276	5,269
無形固定資産		
	232	203
投資その他の資産		
投資有価証券	3,047	3,938
その他	142	162
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	3,181	4,091
固定資産合計	8,689	9,565
資産合計	28,055	24,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,484	3,359
電子記録債務	1,322	1,466
短期借入金	4,253	1,155
未払法人税等	404	222
賞与引当金	-	845
工事損失引当金	1	5
その他	2,700	1,578
流動負債合計	13,167	8,632
固定負債		
長期借入金	1,009	837
退職給付に係る負債	1,935	1,858
その他	377	609
固定負債合計	3,322	3,305
負債合計	16,490	11,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,607	2,607
資本剰余金	1,974	1,988
利益剰余金	6,229	6,616
自己株式	△215	△204
株主資本合計	10,594	11,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,107	1,753
為替換算調整勘定	△78	△73
退職給付に係る調整累計額	△58	△45
その他の包括利益累計額合計	970	1,634
純資産合計	11,565	12,643
負債純資産合計	28,055	24,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	17,851	18,603
売上原価	14,795	15,252
売上総利益	3,056	3,350
販売費及び一般管理費	2,241	2,288
営業利益	814	1,062
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	43	49
投資有価証券売却益	64	22
固定資産売却益	-	70
その他	80	33
営業外収益合計	189	175
営業外費用		
支払利息	24	28
支払保証料	7	6
その他	8	11
営業外費用合計	41	46
経常利益	962	1,191
税金等調整前四半期純利益	962	1,191
法人税、住民税及び事業税	339	422
法人税等調整額	23	△13
法人税等合計	363	409
四半期純利益	599	782
親会社株主に帰属する四半期純利益	599	782

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	599	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△306	645
為替換算調整勘定	7	5
退職給付に係る調整額	17	12
その他の包括利益合計	△282	663
四半期包括利益	317	1,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317	1,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	2,228	1,440	517	2,233	6,419	1,348	7,768	—	7,768
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,854	5,531	386	844	9,617	456	10,073	—	10,073
顧客との契約から 生じる収益	5,082	6,971	904	3,078	16,036	1,804	17,841	—	17,841
その他の収益	—	—	—	10	10	—	10	—	10
外部顧客への売上高	5,082	6,971	904	3,088	16,047	1,804	17,851	—	17,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	288	471	765	206	972	△972	—
計	5,082	6,976	1,192	3,560	16,813	2,011	18,824	△972	17,851
セグメント利益	485	127	133	0	747	67	814	—	814

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、蓄電システム、インバータ製品、制御機器、電子装置、調光フィルム、電気工事及び機械器具設置工事等に関する事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	2,520	1,390	437	991	5,340	1,366	6,706	—	6,706
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,664	6,467	562	1,450	11,144	741	11,886	—	11,886
顧客との契約から 生じる収益	5,185	7,858	1,000	2,441	16,485	2,107	18,592	—	18,592
その他の収益	—	—	—	10	10	—	10	—	10
外部顧客への売上高	5,185	7,858	1,000	2,452	16,496	2,107	18,603	—	18,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	11	271	405	689	318	1,008	△1,008	—
計	5,185	7,869	1,272	2,858	17,185	2,426	19,612	△1,008	18,603
セグメント利益又は 損失(△)	565	165	118	△3	846	215	1,062	—	1,062

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、蓄電システム、インバータ製品、制御機器、電子装置、調光フィルム、電気工事及び機械器具設置工事等に関する事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、パワーエレクトロニクス部門と電子制御機器部門を統合し、エレクトロニクス制御機器部門とする組織変更を実施いたしました。

これに伴い、従来、「環境エネルギー部門」に含めていた当社の蓄電システム、インバータ製品に関する事業は「その他」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。